

# Cisco UCS Manager Plug-ins リリース 3.x for VMware vSphere HTML Client リリース ノート

初版 : 2018 年 9 月 28 日

最終更新 : 2020 年 4 月 22 日

## Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client について

Cisco UCS Manager プラグインは VMware vSphere HTML Client のプラグインです。このプラグインにより、仮想化管理者は Cisco UCS の物理インフラストラクチャを表示、管理、モニタリングすることができます。プラグインは、HTML Client で UCS ハードウェア インベントリの物理的な状態を表示します。

## マニュアルの変更履歴

リリース	日付	説明
3.0(3)	2020 年 4 月 22 日	リリース 3.0(3) に関する情報が更新されました。
3.0(2)	2019 年 12 月 20 日	リリース 3.0(2) に関する情報が更新されました。
3.0(1)	2018 年 9 月 24 日	VMware vSphere HTML クライアント用 Cisco UCS Manager プラグインのリリースノートが公開されました。
	2018 年 12 月 12 日	登録ツールが 1.2.2 に更新されました。

## システム要件

システムが次の要件を満たしていることを確認してください。

- .NET Framework 4.5 以降
- VMware PowerCLI 5.1 以降をインストールして登録ツールを実行する

- VMware vCenter 6.7 以降をインストールする

VMware vCenter 6.7 の場合、vCenter と HTML クライアントを同じマシンにインストールします。

VMware vSphere HTML クライアントの前提条件については、次を参照してください。

[http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en\\_US&cmd=displayKC&externalId=2005083](http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2005083)

### VMware vSphere HTML クライアントのリリース

Cisco UCS Manager プラグインは次の vSphere HTML クライアントのリリースと互換性があります。

- リリース 6.7 以降

### サポートされる Cisco UCS Manager リリース

Cisco UCS Manager プラグインは次の UCS Manager のリリースと互換性があります。

- リリース 3.2 以降

## Cisco UCS Manager プラグインの機能

ここでは、このリリースの重要な機能の概要について説明します。ここでは、このリリースに含まれるすべての拡張機能を網羅して挙げることはしません。

### リリース 3.0(3)

リリース 3.0(3) の新機能および機能変更

- 含まれている不具合修正
- 次の機能に更新が追加されました。
  - ユーザ権限: 同じ vCenter ロールを持ち、UCS を登録したユーザには、プラグインを編集または登録解除する権限があります。



(注) リリース 3.0.3 以降では、プラグインは HTML ベースのみです。Flex ベースのプラグインはサポートされていません。

以前のバージョンの HTML プラグイン (リリース 3.0.1 および 3.0.2) は、[CISCO UCS コミュニティ](#) のベータ リリースとして入手できます。

## リリース 3.0(2)



**注目** このリリースは、[CISCO UCS コミュニティ](#)のベータ リリースとして提供されています。

リリース 3.0(2) の新機能および機能変更を示します。

- 含まれている不具合の修正
- Cisco UCS プロバイダーの障害条件リストに新しい障害 (F1706) が追加されました。
- vCenter のホスト数が100を超えるプロアクティブなハイアベイラビリティのサポートが追加されました。

## リリース 3.0(1)



**注目** このリリースは、[CISCO UCS コミュニティ](#)のベータ リリースとして提供されています。

このリリースには、HTML プラグインが含まれています。Flex 内のすべての機能が HTML で使用できるようになりました。

これらの機能には次のようなものがあります。

- Cisco UCS の物理階層の表示
- サーバおよびその他のインフラストラクチャ コンポーネントの全体的な健全性
- UCS サーバを ESX ホストにマッピングする
- サーバ/ESX ホストごとに、インベントリ、インストール済みファームウェア、障害、電力および温度の統計情報を表示する
- すべての ESX および非 ESX サーバの KVM による起動
- ロケータ LED をオンまたはオフにし、サーバごとに Cisco UCS Manager GUI を起動する
- UCS Mini のサポート
- vCenter を使用してプラグインを登録するための登録ツール
- ESX、非 ESX サーバ、およびその他の UCS コンポーネントでの主要なアクションの実行
- UCS ドメインごとのサービスプロファイル、サービスプロファイルテンプレート、サーバプール、およびホスト ファームウェア パックの表示
- ホスト ファームウェア パックを使用したサーバ ファームウェアの管理
- VMware vSphere HTML クライアント 6.7 のサポート
- UCS ドメインのブレードおよびラック サーバのファームウェア管理。次の操作を実行できます。

- ファームウェアのアップロード
  - ファームウェア アップグレードをトリガーする前に、影響を受ける ESX ホストをメンテナンス モードに移行するオプションを使用して、ホスト ファームウェア パックのファームウェア パッケージ バージョンを変更します。
  - 保留アクティビティの確認
  - ファームウェア パッケージの削除
  - ファームウェア アップロード タスクの削除
- サーバの VIF パスを表示する
  - UCS ドメイン、シャーシ、ファブリック インターコネクト、ファブリック エクステンダ、ESX、および非 ESX サーバのモニタ
  - 重大度に基づいてフィルタリングできる機能により障害を表示
  - IPv4 および IPv6 アドレスを使用したインバンド アクセスのサポート
  - IPv6 アドレスを使用した UCS ドメインの管理
  - 登録済みドメインをグローバルに表示できるようにする機能強化
  - プロアクティブなハイ アベイラビリティ (HA) のサポート: Cisco UCS プロバイダーはプロアクティブな HA 機能をサポートしています。これにより、vCenter クラスタ内のホストを潜在的な障害から保護することができます。

#### 利用可能なアクション

UCS ドメイン内の ESX サーバと非 ESX サーバの両方で、次のアクションがサポートされます。

- ハードウェアまたはテンプレートベースのサービス プロファイルの作成
- サービス プロファイルの関連付けと関連付け解除
- 関連づけられた BIOS ポリシーの管理および BIOS 設定の変更
- ホスト ファームウェア パックの管理
- KVM の起動
- UCSM GUI の起動

次の UCS ドメイン アクションのサポート:

- UCS ドメインのリロード
- サーバ プール テンプレートへのサーバ プールの関連付け
- サーバ プール テンプレートへのホスト ファームウェア パックの関連付け
- サーバ プール テンプレートからサービス プロファイルを作成する

- ホスト ファームウェア パックをサービス プロファイルに関連付ける

#### 登録ツール、リリース v 1.2.0. の機能拡張

- HTML プラグインの登録をサポートするための機能拡張

#### 登録ツール、リリース v 1.2.2 の機能拡張

- PowerCLI 10 以降のバージョンをサポートするための機能拡張

## インストールおよびアップグレードに関する注意事項

Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client を使用すると、Cisco UCS ドメインを登録および管理できます。Cisco UCS Manager プラグインをインストールするときには、UCS Manager のユーザアカウントを使用して個別に UCS ドメインを登録します。実行できるアクションは、UCS ドメインの登録時に使用した UCS Manager のユーザ権限に応じて決まります。また、各プラグインアクションは Cisco UCS Manager と同じ権限をサポートします。

インストール手順については、『*Cisco UCS Manager Plug-in for VMware vSphere HTML Client User Guide, Release 3.x*』を参照してください。

#### サポートされるアップグレード

Flex から HTML バージョンへのアップグレードはサポートされていません。詳細については、『*Cisco UCS Manager Plug-in for VMware vSphere HTML Client User Guide, Release 3.x*』を参照してください。

## 既知の制限事項

次の表に、VMware vSphere HTML クライアントの UCS Manager プラグインの既知の制限事項を示します。

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCvc43849	<p>プラグインの登録が解除された後に HTML クライアントに再ログインすると、エラーメッセージが表示されます。この問題は、次のような状況で発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TLS 1.0 が vCenter で無効になっている場合</li> <li>• HTML クライアントにログインしている間に Cisco UCS Manager プラグインが登録解除された場合</li> </ul>	HTML クライアントサービスを再起動します。	2.0(1)

- プロアクティブ HA プロバイダーは、HTML クライアントサービスの再起動時に一時停止されます。プロアクティブ HA プロバイダーを再開するには、プラグインを再起動します。

## 未解決のバグ

次の表に、VMware vSphere HTML クライアントの UCS Manager プラグインの未解決のバグを示します。

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCvj84254	<p>[ドメインの概要 (Domain summary)] ページで障害のカテゴリを選択すると、すべての障害のカテゴリが表示されます。</p>	障害の適切なカテゴリを手動で選択します。	3.0(1)

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCvk35312	<p>[ドメイン (Domains)]&gt;[シャーシ/ラックユニット/F1 (chassis/rack-unit/F1)]&gt;[関連のオブジェクト (related object)] に移動して、メニューボタンをクリックします。</p> <p>[メニュー (Menu)] ドロップダウンリストは表示されません。</p>	左側のペインで任意のタブを選択し、[メニュー (Menu)] をクリックします。	3.0(1)
CSCvk15348	ホストオブジェクト名のラベルがありません	アクションを実行するには、それぞれのドメイン/シャーシ/サーバを右クリックして、アクションを実行します。たとえば、ブレードサーバに関連するアクションの場合は、[ドメイン (Domain)]>[シャーシ (Chassis)]>[関連のオブジェクト (Related Object)]>[esxi 以外のサーバ (Non-esxi Server)]> に移動し、ブレードサーバを右クリックしてアクションを実行します。	3.0(1)
CSCvk33778	関連付けの状態は、[シャーシ (Chassis)]>[詳細 (More Objects)] ページには反映されませんが、特定のブレードサーバのページでは関連付け状態が正しく表示されます。	UCS ドメインをリロードします。( [FI]>[その他のオブジェクト (More Objects)] に移動し、右クリックして [UCS ドメインのリロード (Reload UCS domain)] を選択します)。	3.0(1)

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCvc27447	vCenter サービスを再起動すると、vCenter ダウンタイム中にヘルス状態が変化し、プロアクティブな HA タスクやイベントには表示されません。それでホストのステータスは不明のままです。	HTML クライアントに再ログインし、Cisco UCS プラグインを再起動して、プロアクティブな HA を再開します。	2.0(1)
CSCvc41800	[すべてのユーザに対して表示 (Visible to All Users)] に設定されている登録済みドメインも、ドメインがすでに他の vCenter ユーザによって「なし」として登録されている場合、リストに表示されなくなります。	この問題を解決するには、ドメインを再登録し、パラメータを [すべてのユーザに表示 (Visible to All Users)] に設定します。	2.0(1)
CSCvc41819	vCenter クレデンシャルを変更すると、次の状態が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• クレデンシャルの変更に関する通知が HTML クライアントに送信されない</li> <li>• 更新前にヘルス状態を変更すると、プロアクティブな HA タスクまたはイベントリストでは使用できなくなります。</li> </ul>	HTML クライアントに再ログインし、Cisco UCS プラグインを再起動します。	2.0(1)



## 解決済みのバグ

不具合 ID	症状	最初に影響を受けるリリース	解決したリリース
CSCvt37585	特定の登録済み UCS ドメインを編集または登録解除しようとする、管理者が登録されていないため、vCenter 管理者は詳細を変更できません。	3.0(2)	3.0(3)
CSCvc24866	ホストの接続を解除すると、そのホストをいったん削除してクラスタに再度追加すると、クラスタ設定から予防的 HA プロバイダーが消去されます。	3.0(1)	3.0(2)
CSCvn05620	VMware の登録ツール (Cisco UCS プラグイン登録ツール 1.1.3) を使用しようすると、次のメッセージが表示され、ツールの起動に失敗します。  オブジェクト参照がオブジェクトのインスタンスに設定されていません。(Object reference not set to an instance of an object.)	2.0(3)	3.0(1) 2.0(4) UCS プラグイン登録ツール 1.2.2
CSCve10123	再登録された Cisco UCS ドメインを登録解除したり、編集したりすることはできません。  この問題は解決されました。	2.0(2)	3.0(1)

## Cisco UCS コミュニティ

Cisco UCS コミュニティはシスコの製品およびテクノロジーについて議論、情報共有、学習するためのプラットフォームです。パートナー エコシステムとの UCS 統合に関連するブログ、ディスカッション フォーラムおよび文書については、[Cisco UCS 統合](#)をご覧ください。

## Cisco UCS の関連ドキュメント

### ドキュメントロードマップ

詳細については、次のリンクから関連資料を参照できます。

- [Cisco UCS Documentation Roadmap](#)
- [Cisco UCS Manager Plug-in for VMware vSphere HTML Client User Guide, Release 3.x](#)

### その他のマニュアル リソース

B シリーズと C シリーズのすべてのドキュメントが格納された ISO ファイルは、次の URL から入手できます。

<https://software.cisco.com/download/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821>

このページで、**[Unified Computing System (UCS) Documentation Roadmap Bundle]** をクリックします。

ISO ファイルは、ドキュメントのメジャー リリースの後に更新されます。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Twitter の『[Cisco UCS Docs](#)』をフォローしてください。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手、サービス要求の提出、および追加情報の収集については、下記 URL の『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコ またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語は、Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説

明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。